

2013 年合格目標 国総併願講座 ガイダンス & オリエンテーション

補助レジュメ

担当 山下

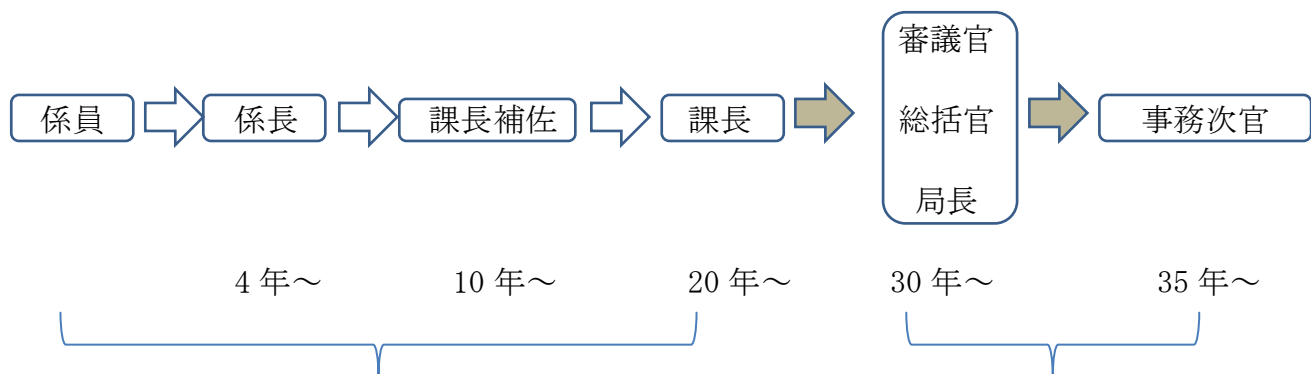
<今日の予定>

- 1 国家総合職とは
- 2 国家総合職試験とは
- 3 本講座の特徴
- 4 勉強方法
- 5 面接対策・官庁訪問対策

1 国家公務員総合職とは？

これからのわが国をデザインする仕事＝本省で日本の政策を作る仕事

具体的にはどのような仕事をしていくのか？・国家一般職との違いは？



政策・企画の立案、法律の制定・改正、業界指導

⇒ここまでは国家一般職と同じ（出世は早い）

外国・政治家・他省との交渉

⇒国家一般職との違い

※課長より上は競争⇒外れたら天下り（独立行政法人や関係業界の民間に再就職）

※また、途中で政治の世界（議員・首長）や学者の世界への転身もある

※総務省・農水省・警察庁などは地方への出向がほぼ確実に存在する＝**転勤アリ**

2 国家総合職試験とは？

① 1次試験(平成24年は4月29日⇒発表は5月11日)

1) **基礎能力試験** (3時間 40問 多肢選択式=マークシート) **配点2/15**

平成24年 国家総合職本試験 基礎能力試験出題表

番号	科目	出題内容	番号	科目	出題内容
No.1	文章理解	現代文(内容合致)	No.21	数的推理	確率
No.2	文章理解	現代文(内容合致)	No.22	数的推理	ニュートン算
No.3	文章理解	現代文(文章整序)	No.23	数的推理	場合の数
No.4	文章理解	現代文(空欄補充)	No.24	数的推理	得点計算
No.5	文章理解	英文(内容合致)	No.25	数的推理	数列・図形的にも解ける
No.6	文章理解	英文(内容合致)	No.26	資料解釈	数表+折れ線グラフ
No.7	文章理解	英文(内容合致)	No.27	資料解釈	数と比の相関図
No.8	文章理解	英文(内容合致)	No.28	時事	近年の我が国の宇宙開発
No.9	文章理解	英文(内容合致)	No.29	時事	我が国の高齢社会の状況と取組
No.10	文章理解	英文(内容合致)	No.30	時事	中東・アフリカ諸国の近年の動き
No.11	文章理解	英文(文章整序)	No.31	物理	重力加速度の計算
No.12	判断推理	順位づけ	No.32	化学	化学物質
No.13	判断推理	対応関係	No.33	生物	環境と生物の反応
No.14	判断推理	対応関係	No.34	日本史	武家政権成立までの武家の歴史
No.15	判断推理	対応関係	No.35	世界史	東南アジアにおける欧米諸国の植民地政策
No.16	判断推理	数量推理	No.36	思想	ルネサンス期の哲学者・思想家
No.17	空間把握	軌跡	No.37	地理	我が国が2000年以降に国家承認した国
No.18	数的推理	円すいの表面積	No.38	政治	我が国の選挙制度
No.19	数的推理	平行四辺形の面積	No.39	政治	国際連合
No.20	数的推理	六角形の面積	No.40	経済	近年の世界経済

基本的には国家一般職と同じ出題数

英語の半分が大きいので、英語が苦手な人は苦戦かもしれない

2) **専門試験**(3時間30分 40問 多肢選択式=マークシート 丸数字は出題数)

配点 3/15

[政治・国際区分]

必須科目…政治学・国際関係⑩、憲法・行政法⑩、民法(担保物権、親族相続を除く)③、
経済学・財政学⑥、経済政策③

選択科目 A…政治学・行政学⑧ B…国際関係・国際法⑧ のいずれかを選択

[法律区分]

必須科目…憲法⑦、行政法⑫、民法⑫

選択科目…商法③、刑法③、労働法③、国際法③、経済学・財政学⑥から任意の9問

[経済区分]

必須科目…経済理論⑯、財政学・経済政策⑤、経済事情⑤、統計学・計量経済学⑤

選択科目…経済史・経済事情③、国際経済学③、経営学③、憲法③、民法(担保物権、親族相続を除く)③から任意の9問

1次試験合格には何点くらい必要か？

※ 1次試験合格最低点早見表

法律	基礎能力	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27
	専門	32	31	30	29	28	28	27	26	25	24
経済	基礎能力	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27
	専門	28	27	26	25	24	23	22	22	21	20
政治国際	基礎能力	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27
	専門	31	30	29	28	28	27	26	25	25	24



基礎能力 50%・専門 65%～75%で合格できる



基礎能力試験のうち**数的処理・文章理解の 27 問**で何点取れるかがポイント

+

専門試験も必答部分で何点取れるかがポイント

② 2次試験 (平成 24 年は 5 月 27 日⇒発表は 6 月 25 日)

専門試験(記述式 4 時間) **配点 5/15**

[政治・国際区分]

政治学、行政学、憲法、国際関係、国際法、公共政策(2 題)の 5 科目から 3 科目**選択**

※公共政策を 2 題選択すれば他は 1 科目

[法律区分]

憲法、行政法、民法、国際法、公共政策の 5 科目から 3 科目**選択**

[経済区分]

必須科目 経済理論

選択科目 財政学、経済政策、公共政策の 3 科目から 2 科目**選択**

政策論文試験(記述式 2時間 1題) **配点 2/15**

…政策の企画立案に必要な能力その他総合的な判断力。及び思考力についての筆記試験

2次試験・人物試験(平成 24 年は 5 月 29 日から 6 月 15 日) **配点 3/15**

…人柄、対人的能力などについての個別面接

最終合格には何点くらい必要か？

平成 24 年試験では

専門試験(記述式)の足切りは 60 点満点で 18 点(すべての区分)

政策論文試験(記述式)の足切りは 10 点満点で 4 点

人物試験での足切りは A～E 評価のうち E 評価を取った者



記述で 60%を取れば、人物試験が C ランクで合格できる

3 本講座の特徴（「国総併願講座」リーフ参照）

カリキュラム① 【法律】

憲法・民法・行政法…記述まで視野に入れてより深い内容を講義

商法・刑法・労働法…地上コースでは手が届かなかった&国総択一で必要な部分を補充

カリキュラム② 【経済】

経済理論（応用）…記述まで視野に入れた、これぞ国総の経済を講義

統計学・計量経済学…択一でキチンと点が取れるように、計算式をどのように使うのかを伝授

財政学・経済政策…記述を書くことができる実力を備えるための講義

経済史・経済事情…地上では手が届かなかった部分を補充

カリキュラム③ 【政治・国際】

憲法…憲法は記述まで視野に入れた講義

行政法…地上の講義では手が届かなかった部分を補充



以上の**補充講義**を受講した上での**専門記述対策講義＋答練**

＋

地上対策では出題されない出題内容をカバーするための**政策論文対策講義＋答練**



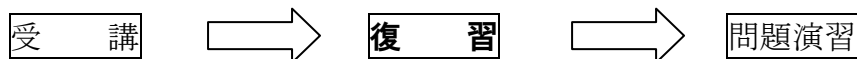
実力の上昇を確認しつつ、本番の試験を体感するための公開模試



さらに・・・

国家一般職とは異なる官庁訪問対策をはじめとする面接対策

4 勉強方法



※講義の復習（講義で与えられたプログラムを自分の理解でインストールするプロセス）

こそが一番大事

5 面接対策・官庁訪問対策

①**面接対策**…地方上級・国家一般職の面接対策とそれほど違いがあるわけではない

⇒1次試験合格後で十分

②**官庁訪問対策**⇒最終合格してもこれを突破しないと就職できない(いわば隠れメニュー)

開始…最終合格発表日の翌々日(平成24年は6月27日)午前8時30分から

期間…開始日から1週間(同一省庁に訪問日の翌日・翌々日は訪問不可)

次の1週間(同一省庁に2日連続して訪問不可)

月 日	6/27	6/28	6/29	7/2	7/3	7/4	7/5	7/6	7/9	7/10	7/11	7/12
	第1クール			第2クール			第3		第4		第5	第6
A	○	×	×	○	×	×	○	×	○	×	○	○
B	×	○	×	×	○	×	×	○	×	○	×	×
C	×	×	○	×	×	○	×	×	×	×	×	×

※A・B・Cはそれぞれある官庁を指す

⇒7月12日に「内定」が出る・・・事実上の内定はそれ以前に暗示されている

何をするか…原課(政策を作っているところ)・人事を含め様々な人と面接(面談に近いものも

ある)して、その省庁のカラーにあっていようかどうかを判断される



ここだけをチョイスするカリキュラム④もあります

以上の講座を利用して、地上・国家一般ばかりでなく、国家総合職も内定をもらって、自らの選択肢を広げてみましょう